



2023年5月19日

各位

会社名 中央ビルト工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 齋藤 健
(コード：1971、東証スタンダード)
問合せ先 取締役経営統括本部長 松澤 範生
(TEL. 03-3661-9631)

特別損失（固定資産の減損損失）の計上、通期業績予想と実績値との差異及び
剰余金の配当（無配）に関するお知らせ

当社は、2023年3月期において、特別損失（固定資産の減損損失）を計上するとともに、2022年5月20日に公表した2023年3月期の通期業績予想値と、本日公表の実績値に差異が生じました。また2023年5月19日開催の取締役会において、2023年3月31日を基準日とする剰余金の配当を無配とすることを決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 特別損失の発生及びその内容

当社が保有する仮設機材事業に係る固定資産について、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき将来の回収可能性を検討した結果、2023年3月期決算において249百万円を減損損失として特別損失に計上いたしました。

2. 業績予想値と実績値との差異について

(1) 2023年3月期 通期業績予想値と実績値との差異（2022年4月1日～2023年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	8,004	132	112	79	33.59
今回実績（B）	9,592	102	92	△181	△77.32
増減額（B－A）	1,588	△29	△19	△260	
増減率（％）	16.6	△28.3	△21.0	－	
（参考）前期実績 （2022年3月期）	8,104	154	200	192	81.71

(2) 差異の理由

2023年3月期の通期業績について、住宅鉄骨事業は都市部の大型物件などの堅調な需要に支えられ、生産量が増加したことにより増収となったものの、競争激化など環境悪化による仮設機材事業の利益率の低下などにより減益となりました。また、上述の減損損失を計上したことにより当期純利益は大幅に減益となりました。

3. 配当について

(1) 配当の内容

	年間配当金 (円)		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想(2022年5月20日発表)	—	10円00銭	10円00銭
決定額	—	0円00銭	0円00銭
前期実績(2022年3月期)	0円00銭	8円00銭	8円00銭

(2) 理由

当社は株主の皆様への利益還元を経営上の重要課題の一つとして認識しており、業績、当社を取り巻く経営環境、今後の事業展開、安定配当の維持等総合的に勘案しながら利益還元を実現することを基本方針としております。

しかしながら、2023年3月期は、業績及び財務状況などを総合的に勘案した結果、財務基盤の安定化を図ることが急務であるとの考えから、誠に遺憾ではございますが、1株当たり10円と予想していた期末配当を無配とさせていただきます。

株主の皆様には深くお詫び申し上げますとともに、可能な限り早期に復配できるよう努めてまいりますので、ご理解と引き続きのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以 上